

平成 31 年度見直し作業に向けて

現在のまち・ひと・しごと創生総合戦略の対象期間は平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間としており、本戦略の基本目標及び K P I の達成度を検証し、対象期間を平成 32 年度から平成 36 年度までとした次期戦略の策定をする必要があります。

また、次期総合戦略の策定に向けては、本市の総合計画や国の示す基本目標を踏まえて検討していく必要があります。

①総合計画との整合性

総合計画は、まちづくりの方向性を定めた最上位計画です。人口ビジョン・総合戦略は、そのなかで、特に人口減少克服・地方創生を目的としているものであり、総合計画で示している将来像である「人・歴史・自然が綾なすセーフティー共創都市“あま”」を踏まえた上で次期総合戦略を策定していく必要があります。

②国の示す基本目標との整合性

国の「地方版総合戦略策定のための手引き」によると、「地方版総合戦略は①しごとづくり、②ひとの流れ、③結婚・出産・子育て、④まちづくりに係る分野を幅広くカバーすることが望まれるが、各地域に固有の状況を踏まえ、特定の分野や特定の施策を重点的に推進することは差し支えない」とされています。国の総合戦略の方向性を踏まえた上で策定していく必要があります。

■総合計画と国の示す基本目標との連動イメージ

【総合計画の基本目標】

- 1 安全が確保され、安心して快適に暮らせるまち
- 2 心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまち
- 3 郷土に誇りと愛着が持てる、魅力あるまち
- 4 自らの力で歩み続ける、活力あるまち
- 5 交流と連携による、一体感のあるまち

【国の示す総合戦略の基本目標】

地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

地方への新しいひとの流れをつくる

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る



あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略